

修正案提案説明

(共産党)

国民健康保険条例の一部を改正する条例のうち賦課限度額を六万円引き上げる案を五十三万円に戻す修正を...

討論

真正議員団 リベラル東大阪 さわやかな風 荊政会

リベラル東大阪、さわやかな風、荊政会、真正議員団は、継続審査となつて...

平成十七年十二月の議会で指定管理者について、指定期間を二年に短縮し、非公募で外郭団体への指定を認めた...

また当初予算で削減、廃止された上下水道料金の福祉減免などを復活させる。なお、特別職の人員費などを減額し、旧同和関連予算は特別扱いしない立場で見直し減額修正する。

閉会中に外郭団体の統廃合についての市長の考え方が示されたが、具体的な統廃合の方針を不転の決意で九月に示すとしながら、タイムスケジュールも示されず、前回の方針から踏み込んだ内容ではなかった。また九月に見直し方針を出すことと今回の指定管理期間三年との間に整合性がなく、もし廃止が決まったとしても外郭団体には三年間の存続を担保しており、矛盾が生じ納得できない。

さらに、既に指定管理が導入されている施設での効果の検証もなく、今回の選考基準もあいまいである。議会との約束をほごにすることは問題であり、行政の不作為と言わざるを得ない。施設運営の明確な基準を早急に示すべきである。

議案の会派態度表

(賛成 × 反対)

Table with columns for party names (公明党, 真正議員団, 共産党, 自由民主党, リベラル東大阪, さわやかな風, 荊政会) and rows for various council proposals.

自由民主党

公明党、自由民主党は、指定管理者の指定の件及び平成二十年度一般会計予算の原案に賛成する。

共産党

一般会計予算は野田市長の危機管理意識の高さがうかがえる全中学校区への投資の活性化を図るための活動助成事業経費等の充実、教育施策においては昨今の教育に係る喫緊の課題に取り組みべく、学力向上策や特別支援教育の推進経費など、市長が市民に約束した施策、市政マニフェストの着実な実行を積極的に推進するたための予算となっている。

額修正権が認められているのが長の発案権を侵害するところとできないとされているので、今回の修正議案は疑義があると考えている。

指定管理者変更時の雇用の継続の方策など、今後議論していくよう主張する。後期高齢者医療に関する条例などの八原案に反対し、我が党が提案した国保会計予算などの五案件の修正案に市民の暮らしを守る立場から賛成する。提案されている予算原案は就学援助予算の削減など市民の願いに冷たく、旧同和関連予算は長尾前市長が進めてきた旧同和行政の終結の流れを逆行させる市政である。